

第12章 環境影響評価準備書からの主な変更事項

環境影響評価書の作成にあたっては、京都府知事の意見等を勘案して、準備書の記載事項について検討を加え、必要な追記・修正を行った。

環境影響評価準備書からの主な変更事項についてまとめたものを、表 12-1～表 12-3に示す。

表 12-1 環境影響評価準備書からの主な変更事項 (1/3)

準備書章	該当箇所			主な変更事項（概要）
	準備書見出・図表	準備書頁	評価書頁	
1 章	—	1-15	1-15	排水を下水道放流するにあたって、下水道の終末処理場への負荷を低減するための対策の内容を追記した。
2 章	表 2-2. 16	2-20	2-20	注釈に記載の道路交通振動の時間区分を修正した。
	表 2-2. 87	2-132	2-132	備考に記載の数式について、前後の表の記載に合わせて修正した。
6 章	表 6-2. 1 (1)	6-2	6-2	光化学オキシダントの非選定理由に、原因物質の排出が少ないことを追記した。
7 章	表 7-1. 5 (3)	7-8	7-8	二酸化窒素の調査結果について、A 7 地点の4 季平均値を 0. 009ppm に、A10 地点の4 季平均値を 0. 008ppm に等、数値を修正した。
	表 7-1. 18	7-18	7-18	窒素酸化物の調査結果について、A12 地点の春季の1 時間値の最高値を 0. 114ppm に修正した。
	表 7-1. 29	7-33	7-33	逆転層の出現頻度について、下層逆転及び逆転なしの出現回数を修正した。
	表 7-1. 52	7-63	7-63	大気安定度不安定時における気象条件について、設定した大気安定度の区分を修正した。(A、B⇒A、AB、B)
	—	7-95	7-95	1 時間値を二酸化硫黄：0. 00179ppm、二酸化窒素：0. 00088ppm、浮遊粒子状物質 0. 00179mg/m ³ 、塩化水素 0. 00179ppm に修正した。
	図 7-1. 26	7-118	7-118	グラフ縦軸の「騒音レベル合計」を「音響パワーレベル合計」に修正にした。
	—	7-121	7-121	文中の「建設機械の騒音レベル」を「建設機械の音響パワーレベル」に修正した。
	表 7-1. 124	7-147	7-147	環境保全目標値の設定にあたって、予測地点N 1 は環境基準が適用され、予測地点N 2 は環境基準等が適用されないため、注釈の記載を修正した。
	—	7-148	7-148	工事用車両の走行に係る騒音の環境保全措置について、制限速度の遵守等が、沿道の最大騒音レベルに配慮した措置であることを追記した。
	—	7-149	7-149	施設の稼働に係る騒音の環境保全措置に、設備機器の整備、点検の徹底を追加した。

表 12-2 環境影響評価準備書からの主な変更事項 (2/3)

該当箇所				主な変更事項 (概要)
準備書章	準備書見出・図表	準備書頁	評価書頁	
7 章	—	7-150	7-150	施設利用車両の運行に係る騒音の環境保全措置について、アイドリング・ストップの励行等が、沿道の最大騒音レベルに配慮した措置であることを追記した。
	—	—	7-154 7-155	現地調査地点の 1/3 オクターブバンド音圧レベルの低周波音調査結果を追加した。
	表 7-1. 131	7-155	7-157	類似施設における調査結果について、地点⑥の低周波音圧レベル (L ₅₀) を 85dB に修正した。
	—	7-155	7-157	予測結果として、類似施設の 1/3 オクターブバンド音圧レベルの低周波音調査結果を追加した。
	表 7-1. 142	7-164	7-166	道路交通振動の調査結果について、要請限度の夜間の値を 60dB に修正した。
	表 7-1. 142	7-164	7-166	道路交通振動の調査結果について、注釈に記載の時間区分を修正した。
	表 7-1. 144 表 7-1. 145	7-166 7-167	7-168 7-169	昼間・夜間の各時間区分の平均値を修正した。
	表 7-1. 146 表 7-1. 147	7-168 7-169	7-170 7-171	昼間・夜間の時間帯及び各時間区分の平均値を修正した。
	表 7-1. 151 表 7-1. 154 表 7-1. 157 表 7-1. 160	7-180 7-183 7-189 7-191	7-182 7-185 7-191 7-193	注釈に記載の道路交通振動の時間区分を修正した。
	表 7-1. 151 表 7-1. 157	7-180 7-189	7-182 7-191	予測に用いる交通量の合計値について、予測時間帯（昼間の時間区分）の見直しに伴い、予測地点 N 3 の一般交通量台数及び全体交通量を修正した。
	表 7-1. 153 表 7-1. 159	7-181 7-190	7-183 7-192	予測に用いる時間帯別の交通量について、予測時間帯（昼間の時間区分）の見直しに伴い、予測地点 N 3 の一般交通量台数及び全体交通量を修正した。
	表 7-1. 154 表 7-1. 160	7-183 7-191	7-185 7-193	予測地点 N 3 の予測振動レベル及び増加量について、予測時間帯（昼間の時間区分）の見直しに伴い、修正した。
	表 7-1. 163	7-193	7-195	関係車両の運行に伴う振動の環境保全目標値の時間帯を修正した。
	表 7-2. 14	7-221	7-223	建設工事に伴う水質の環境保全目標値を修正した。
	表 7-4. 16 表 7-4. 23	7-252 7-263	7-254 7-265	オオタカの予測結果について、親鳥と幼鳥を区分した影響要因の記載に修正した。

表 12-3 環境影響評価準備書からの主な変更事項 (3/3)

該当箇所				主な変更事項 (概要)
準備書章	準備書見出・図表	準備書頁	評価書頁	
7 章	表 7-4. 14～ 表 7-4. 40 表 7-5. 8 表 7-5. 10 表 7-6. 5	7-248～ 7-292 7-304 7-306 7-314～ 7-315	7-250～ 7-294 7-306 7-308 7-316～ 7-317	動物、植物及び生態系に係る予測結果について、各種の生態的知見を踏まえて検討した経過をより丁寧な記載に修正した。
	表 7-6. 7	7-317～ 7-318	7-319～ 7-320	
	表 7-6. 9	7-320～ 7-321	7-322～ 7-323	
	表 7-6. 11	7-323～ 7-324	7-325～ 7-326	
	—	7-344	7-346	
	表 7-9. 2	7-367	7-369	
	—	7-369	7-371	
	—	7-370	7-372	
	表 7-10. 6	7-376	7-378	
8 章	—	8-1	8-2	建設汚泥の発生について、注釈に追記した。
	—	8-1	8-2	工事の実施に係る廃棄物等の環境保全措置に、廃プラスチック類の再利用・再資源化、関係法令に基づく適正処理を追加した。
	—	7-383	7-385	施設の稼働に係る廃棄物等の環境保全措置に、燃焼管理による発生抑制を追加した。
9 章	表 9-3. 4	p9-8	p9-8	工事用車両 (大型車) の軽油使用量を 33, 530L/工事期間に修正した。
	—	7-383	7-385	発電による温室効果ガスの削減分の記載について、0. 81 万 t-CO ₂ に修正した。
	—	7-383	7-385	環境の保全及び創造に関する施策との整合性の評価結果について、関連計画との整合を図るとともに、循環型社会推進に向け構成市と積極的に連携することを追記した。
参考資料	—	8-1	8-2	オオタカの保全及び措置について、検討経過を追記した。
	—	8-1	8-2	保全措置の検討に伴う整備スケジュール見直しの経緯を追記した。
	表 9-3. 4	p9-8	p9-8	塩化水素、水銀の調査回数を「2 季×7 日間 (1 検体/日)」に修正した。
	参考資料 1	参 1-3 参 1-4	参 1-3 参 1-4	数式のパラメータを修正した。
参考資料	参考資料 3	参 3-7	参 4-7	表内の確認種を修正した。
	—	—	参 2-1～ 参 2-20	東部清掃工場等の影響を考慮した施設の稼働による複合影響について、前提条件及び予測・評価結果を追記した。
	—	—	参 5-1～ 参 5-3	道路交通騒音の最大騒音レベルについて、予測手法、予測結果及びそれを踏まえた対応方針を追記した。

